

ふらたなす


<https://www.kiyotaminami-e.sapporo-c.ed.jp/>

令和 7 年 11 月 26 日

令和7年度 全国学力学習状況調査の結果より

【国語】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【内容】 「言葉の特徴や使い方に関する事項」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 「情報の扱い方に関する事項」 ◆全国平均を下回っている。 「我が国の言語文化に関する事項」 ◆全国平均を下回っている。 「話すこと・聞くこと」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 「書くこと」 ◆全国平均とほぼ同程度であるが、やや下回っている。 「読むこと」 ◆全国平均を下回っている。	● 学年別漢字配当表に示されている漢字を文の中で正しく使うこと。 ● 情報と情報との関係付けの仕方、図などによる語句と語句との関係の表し方を理解し使うこと。 ● 時間の経過による言葉の変化や世代による言葉の違いに気付くことができること。 ● 自分が聞こうとする意図に応じて、話の内容を捉えることができること。 ● 目的や意図に応じて簡単に書いたり詳しく書いたりするなど、自分の考えが伝わるように書き表し方を工夫することができること。 ● 目的に応じて文章と図表などを結び付けるなどして、必要な情報を見付けること。	○ 同音や同訓の漢字に注意し、言葉の意味を考えて文の中で正しく使う学習活動の充実。 ○ 複雑な事柄を分解して捉えたり、多様な内容を要素ごとに分類したりする際に、短い語句で端的に表し、図で表しながら考えをまとめる学習活動の充実。 ○ 世代によって呼び方が違うものを集める活動や、異なる世代にインタビューする活動など、それぞれの世代に特有の言葉遣いがあることを実感する学習活動の充実。 ○ 友達と対話したり、大人にインタビューしたりする活動の中で、相手が話した話題に対して質問することで話題をより深められることが実感できるような学習展開の構築。 ○ 書く目的や意図を明確にし、本やインターネットなどで情報を収集し、整理するとともに、調べた内容に関して自分の考えをまとめる学習活動の充実。 ○ 説明的な文章を読む目的を明確にし、文章や図表など複数の資料から必要な情報を取捨選択・整理・再構成しながら、それぞれの資料を関連付けて考える学習活動の充実。

【算数】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【領域】 「数と計算」 ◆全国平均を下回っている。	●異分母の分数の加法の計算を すること。 例) $1/2 + 1/3$ の計算	○分数の加法及び減法の計算の 仕方や分数の意味や大きさに 着目して考える活動の充実。
「図形」 ◆全国平均を下回っている。	●平行四辺形の性質を基に、コン パスを用いて平行四辺形を作 図すること。	○辺の長さや角の大きさ、辺の位 置関係に着目して、図形の構成 の仕方について考察する活動 の充実。
「測定」 ◆全国平均を下回っている。	●はかりの目盛りを読むこと。 例) はかりの針がさしている目 盛りは何gか答えること。	○身の周りのものの大きさを単位を 用いて表現する活動の充実。
「変化と関係」 ◆全国平均を下回っている。	●伴って変わる二つの数量の関 係に着目し、問題を解決するた めに必要な数量を見だし、知 りたい数量の大きさの求め方 を式や言葉を用いて記述する こと。	○日常の事象について、ある数量 を調べようとするときに、それ と関係のある数量を見だし、 それらの数量の関係を把握し て、関係性を表・式・言葉を用 いながら問題を解決する学習 展開の構築。
「データの活用」 ◆全国平均を下回っている。	●目的に応じて適切なグラフを 選択して出荷量の増減を判断 し、その理由や言葉や数を用い て記述すること。	○日常的な事象について、目的に 応じて、必要なデータを収集 し、データの特徴や傾向を考察 する活動の充実。

生活習慣や学習環境に関する質問紙における本校児童の特徴

- 学校に行くのは楽しいと思っている児童が全国平均を上回っている。
- 授業で学んだことを、次の学習や実生活に結びつけて考えたり、生かしたりすることができると思っている児童の割合が全国平均をやや上回っている。
- 自分と違う意見について考えるのは楽しいと肯定的に回答したに児童の割合が全国平均を下回っている。
- 分からないことやくわしく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することができていると肯定的に回答した児童の割合が全校平均を下回っている。

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【領域】 「エネルギー」を柱とする領域 ◆全国平均を下回っている。	●電気の回路のつくり方について、実験の方法を発想し、表現することができること。	○電気などのエネルギーの性質の理解を深めるために、実験の条件をどのように変えることで調べたい事象を明らかにできるのかを思考し、表現する活動の充実。
「粒子」を柱とする領域 ◆全国平均を下回っている。	●「水は温まると体積が増える」を根拠に、海面水位の上昇した理由を予想し、表現することができること。	○水や空気など、身近な粒子の性質の理解するために実験を行い、結果を基に地球規模で起こって事象についての関係性があるか考え、表現する活動の充実。
「生命」を柱とする領域 ◆全国平均を下回っている。	●レタスの種子の発芽条件について、差異点や共通点を基に、新たな問題を見だし、表現すること。	○問題を見いだす力を育むために、観察や実験の結果を比較して、差異点や共通点を基に、具体的な条件に着目し、一人一人が見いだした問題をノートに書くなどの、思考し表現する活動の充実。
「地球」を柱とする領域 ◆全国平均を下回っている。	●赤玉土と粒の大きさによる水のしみ込み方の違いについて、結果を基に結論を導いた理由を表現すること。	○より妥当な考えをつくりだす力を育むために、観察、実験の結果を基に、具体的な数値や事物、現象の変化などの根拠を明確にして自分の考えを作りだし、表現する活動の充実。

本校では以下の取組を大切にしていきます

○できる・分かる・楽しい授業作り

子どもたちが学校に行くのが楽しいと回答した児童が多いことは、保護者や地域の方の支えがあってこそその結果だと感じております。紙面にてではありますが、心より感謝いたします。

今後も子どもたちが学習内容を理解し、定着を図ることができるよう努めていくとともに、子ども一人一人が自分の力で学習を前に進めていく過程を楽しみ、成長していく自分に自信をもてるよう授業作りを進めていきます。

○自己決定したり、互いを認め合う対話をしたりする場の創出

各教科、総合的な学習の時間等において、子どもたちが目標を達成するために行動する際や未知の問題と遭遇した際に教師が方向性を示すだけではなく、子ども自らが考えをもったうえで学びを進めることを大切にしています。また、互いの思いや考えを対話することを通して交流したうえで学びを進める経験を増やすことで、将来にも生きる学ぶ力を高められるように授業の改善を進めていきます。